

新規就農先輩の軌跡 No.50

新規就農者の素顔	農業経営の状況（現在）
 <p>氏名：平松 <small>としひさ</small> 稔久</p> <p>住所：丹波市氷上町清住</p> <p>年齢：43歳</p>	<p>農地：100a（借地60a）</p> <p>施設：ビニールハウス696㎡</p> <p>経営内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トマト 7a ・水稲 40a ・黒大豆枝豆 15a ・その他野菜 35a <p>労働力：本人、妻</p> <p>出荷先：消費者直接販売、直売所など</p>  <p>夫婦で一緒にがんばっています</p>
就農から現在まで	就農で良かった点・苦労した点
<p>2009年 離職</p> <p>2009年 広瀬農園で1年間研修(新規就農離陸加速モデル推進事業活用)</p> <p>2010年 就農</p> <p>現在に至る</p>	<p>○良かった点</p> <p>全てにおいて自分達の判断のできる。ので納得した仕事ができる。</p> <p>○苦労した点</p> <p>思ったより資金が必要であることと販売先の確保。</p>
農業をめざした動機	現在、特に力を入れている取り組み
<p>非農家出身だが、自分自身の手でゼロから農産物を作り上げ、販売できる農業に魅力を感じ、農業参入を志した。</p>	<p>自身の営農だけでなく、丹波市の若手農業者の会「丹波大空の会」の会長に推挙された。この会に大勢の人が気軽に集い、視察や販売会を通して多方面の方とつながり、技術や経営などの情報交換することで丹波市農業を盛り上げたい。</p>